

上州和牛の輸出を支える！

～河川改修で地域経済を守る～

上州和牛の安定供給を支える

河川改修により、食肉卸売市場を水害から守り、上州牛の安定供給を支えます。

高品質な食肉を世界の国や地域へ！



群馬県食肉卸売市場は、国産牛肉のEUへの輸出を日本初で許可された施設



出典：国土地理院HP(編集して作成)

【効果】洪水時の安全性向上

○現状

群馬県食肉卸売市場は利根川の浸水想定区域内に立地しており、洪水時には**業務停止の恐れ**があります。

○整備後

堤防の整備により水害リスクが低減され、**業務の継続性が確保**されます。



ストック効果

河川改修で板倉ニュータウンが誕生！

～水害リスクの軽減により新たなまちづくりが進展～

水害リスクの軽減により地域発展

板倉ニュータウンの開発と合わせて河川改修を実施し、水害に強いまちづくりを進めています。



主な効果

- ・板倉ニュータウン
- ・東武日光線 板倉東洋大前駅開設（都心（北千住駅）まで約50分）

【板倉ニュータウン】

自然環境豊かで都心にも近い板倉町に、群馬県の東の玄関口として、約218haのスケールを誇る大規模ニュータウン

【効果1】水害リスクが低減！

板倉ニュータウン造成の協調事業として平成5年に河川改修に着手

●Before

(浸水状況)
【昭和60年】



●After

(整備後)
【平成27年】



【効果2】企業の進出！

- ・板倉ニュータウン産業用地の分譲が完了し、企業進出が進んだことで、地域に多くの雇用が創出されました！



介護用品会社



冷凍食品製造会社

板倉川周辺における産業、商業区域の状況



企業進出を支える水害対策！

～水害リスクが軽減し企業の進出が促進～

民間投資を後押し

河川改修で水害リスクが軽減したことにより、大規模な産業団地造成事業が進み、企業進出が促進されました。



【効果】 水害リスクの軽減

令和3年度河道改修完成

- ・堤防の築堤、護岸整備

水害リスクの軽減

●Before

川幅が狭く、洪水時に浸水被害が発生していました。



●After

川幅を広げることで、流せる水の量を増やし、水害リスクを軽減しました。



高崎スマートIC産業団地 平成30年造成完成

スマートICや東毛広域幹線道路の開通による利便性の向上や、高崎市による大規模な産業団地造成にあわせ、河川改修を実施しました。

これにより、**30haに及び安全安心な産業基盤の提供**が可能になりました。**令和7年度末時点で17社の企業立地が決定**しています。



ストック
効果

企業進出を支える水害対策！

～水害リスクが軽減し企業の進出が促進～

企業進出を後押し

河川改修で水害リスクを軽減し、大規模な産業団地造成事業及び企業進出を促進します。



【効果】 水害リスクが軽減

●Before

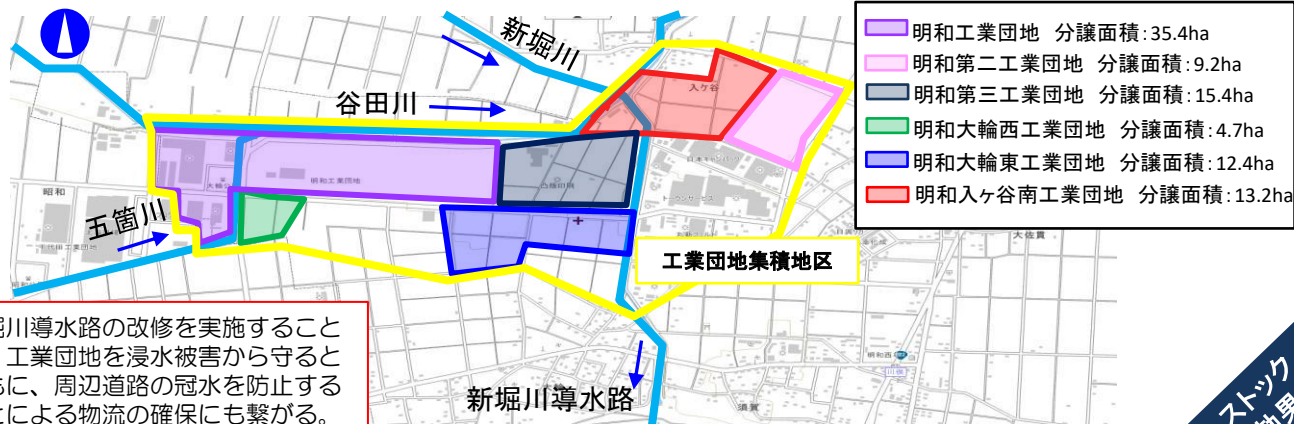
川の断面が小さく、水位が上昇し浸水の恐れがあります。



水害リスクの
軽減

●After

川の断面を広げることで、流せる水量を増加させ、浸水のリスクを軽減させます。



ストック
効果

伝統工芸を守る！

～高崎だるまの生産を支える～

伝統工芸の保全・継承

河川改修により水害リスクを軽減させ、だるまの安定的な生産体制を守ります。



高崎だるまは全国シェアNo.1！



群馬県高崎市豊岡・八幡地域を中心に、張り子のだるまづくりが始まったのは、今から200年以上も前のこと。年間約90万個のだるまを出荷し、その数は**全国の張り子だるまの大多数を占める**。

水害リスクと対策



【効果】水害リスクの軽減効果

●Before

洪水により「高崎だるま」の**生産に影響がでる恐れ**があります。



令和元年東日本台風

●After

水害リスクの軽減により、**生産の継続性が確保**されます。



イメージ

ストック
効果

ぐんまの特産物を支える！

～河川改修で群馬の農産物ブランドを守る～

ぐんまブランドを支える水害対策

河川改修により水害リスクを軽減させ、地域の特産物である「藪塚こだま西瓜」の安定した供給体制を確保します。

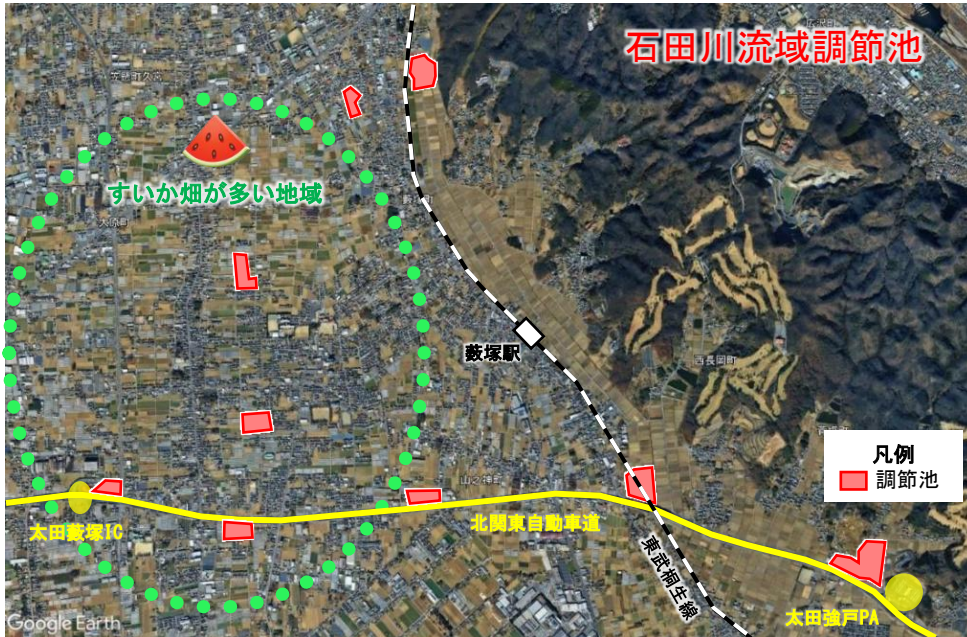
全国屈指のブランド「藪塚こだま西瓜」



群馬県太田市藪塚地区は、豊富な日照時間や水はけの良い土壌条件を活かしたハウス栽培がさかんで、京浜市場を中心に3～6月にかけて出荷されています。
みずみずしい果肉と濃厚な甘さ、食べきりサイズの手頃な大きさは消費者に大人気で、全国屈指のブランドとなっています。

【効果】 雨水貯留による浸水範囲の縮小

水害リスクの軽減



藪塚地区は扇状地に位置し、一級河川がありません。そのため、雨水は農地の地下へ浸透するほか田畑が一時的に貯留することで下流の河川への流出を自然に調節していました。しかし、開発によりその機能が失われたため、**調節池の整備**により雨水を貯留し、浸水範囲を減らします。

●Before

浸水被害により「藪塚こだま西瓜」の**出荷に影響する恐れ**があります。



平成23年7月台風6号

●After

水害リスクの軽減により、**農産物の安定生産や人命、財産を守ります。**



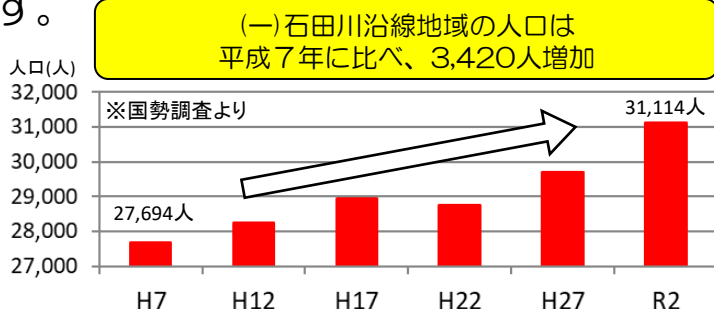
ストック効果

河川改修で人口が増加！

～水害リスクの軽減により都市化が進展し、人口が増加～

治水対策で人口が増加

(一) 石田川周辺では、河川改修による水害リスクの軽減に伴い、都市化が進展し、人口が増加しています。



【効果】 水害リスクの低減により都市化が進展



(一) 石田川河川改修
昭和16年に下流から堤防の築堤や護岸整備を進め、平成30年に完成したことで水害リスクが軽減されました。



ストック効果

地域の経済活動を支える！

～出荷額県内1位の食品工場を守る～

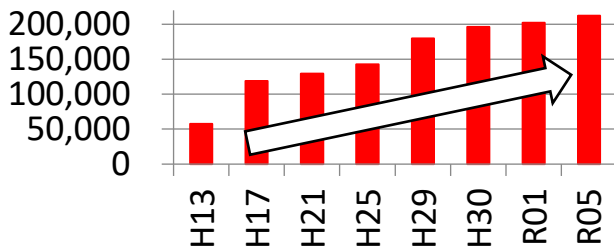
地域産業の安全性向上

河川改修により、地域生活・経済を支える国道や鉄道、食品工場の水害リスクを軽減しました。

(百万円)

高崎市における食品出荷額

平成12年度の事業着手後、出荷額が大幅に増加



JR高崎線（新町駅）
利用者(R4)：約2,984人／日



国道17号（第1次緊急輸送路）
交通量(R3)：24,491台／日



【効果】水害リスクの軽減

河川改修で水害リスクが軽減したことにより、地域産業を担う食品工場と物流を支える主要交通網の安全性が向上します。

●Before

川の断面が小さく、浸水被害が発生する状況でした。



●After

川幅を拡げることにより、流せる水量を増やしました。



ストック
効果

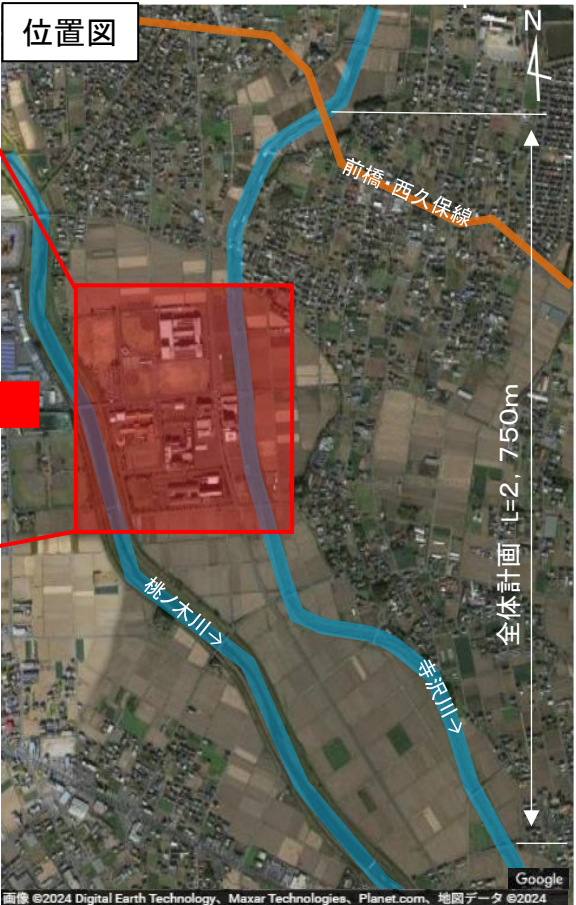
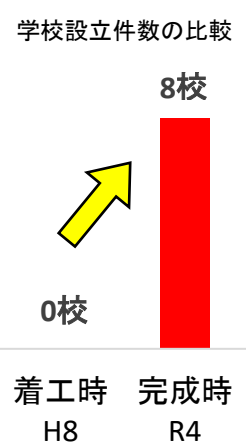
水害リスクの軽減により文教施設集積を促進！

～水害リスクから学園生活を守る～

水害リスクから学園生活を守る

河川改修による水害リスクの軽減に伴い、学園生活の安全・安心が図られ、学校の設立・移転が進みました。

新しく学校が8校も設立・移転しました



隣接学校と協調し
現場見学会を開催
しました。

【効果】 水害リスクの軽減

●Before

川の断面が小さく、大雨の際は浸水被害
が発生する状況でした。



- ・堤防の築堤
- ・川幅拡幅



水害リスク
の軽減

●After

水が溢れないように川幅を拡げ、流せる
水量を増やし、水害リスクを軽減しました。



ストック
効果

自然と共存した交流拠点の創出！

～ホタルとカワセミそして人が集まる河川空間～

自然に配慮した川づくりによる交流拠点の形成

多自然川づくりによる河川整備で、ホタルやカワセミなど動植物の生息環境を整え、良好な河川空間を地域の交流拠点とします。



【効果】 多自然川づくりで地域の活性化を支援

多自然川づくりによる河川改修と、住民の環境保全活動により、ホタルやカワセミが生息する良好な河川環境が回復し、地域住民の交流の場となる河川空間を創出しました。

●Before

落差工があり魚が遡上できない状況でした。



●After

魚が遡上できるように、落差工の全面に魚道を設置し落差を解消しました。



護岸にカワセミの巣となる小屋を設置しました。

ストック
効果

地域の産業活動を支える！

～水害リスクから産業活動を守る～

地域産業の安全性向上

河川改修を行い、地域産業の中核となる自動車工場や幹線道路の安全性を向上させることにより、地域の経済活動を支えます。



【効果】 水害リスクの軽減

河川改修で水害リスクを軽減させることにより、**人家4,725戸**、地域産業を担う工場1棟と物流を支える主要交通網2.0kmの浸水被害が解消し、安全性が確保されます。

●Before

川の断面が小さく、浸水被害が発生する状況でした。



●After

川幅を広げることで、流せる水量を増やしました。



ストック
効果

太田市の顔にふさわしい地区の創出！

～水害リスクの減少で経済ポテンシャルの高い市街地環境へ～

駅周辺地区の良好な市街地環境形成

土地区画整理事業に併せて河川改修を実施することで水害リスクを減少させ、太田市の顔となる駅周辺地区がより良好な市街地環境となります。

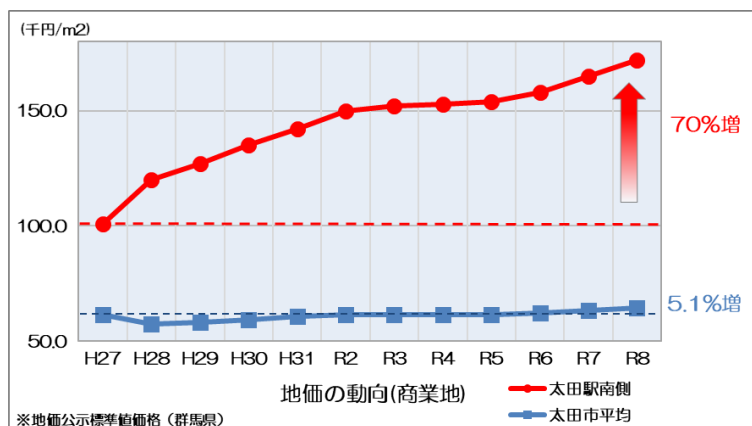


【効果】 水害リスクの軽減効果

○水害リスクが減少し、駅周辺地区がより**良好な市街地環境となることが期待**される。

○太田市の平均地価（商業）が横ばいの中、**太田駅周辺地域は平成27年度に比べ、約70%上昇（R8）**

○今後も再開発計画が予定されており、**更なるストック効果の増大が見込まれる。**



●Before



川の断面が小さく、大雨時に水位が上昇し洪水の恐れがあります。



水害リスクの減少

●After



川の断面を広げることで流せる水量を増加させ、水害リスクを減少させます。

ストック効果

河川改修で多々良沼公園の利用者増加へ！

～水害リスクの軽減にあわせて、より親しみやすい河川へ～

水害リスクの軽減により安心して暮らせる地域に

邑楽郡邑楽町を流れる多々良川の改修を実施し、水害に強く、河川に親しめる地域づくりを進めています。

●Before

(整備前)

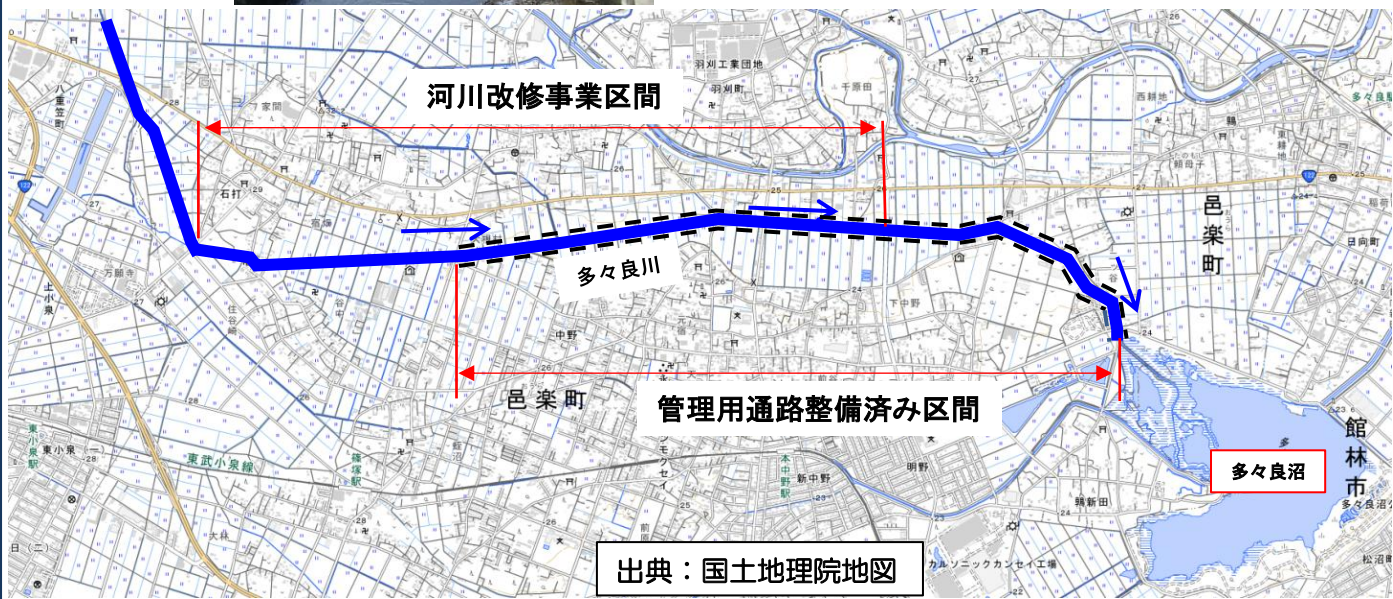
【平成29年】



●After

(整備後)

【令和4年】



【効果】多々良沼公園までの徒歩や自転車でのアクセス性向上！

多々良川では改修にあわせて「多自然川づくり」を進めており、河川に親しみながら堤防上を散歩等で利用することが出来るようになり、多々良沼公園までのアクセス性が向上します。



多々良川から多々良沼公園へのアクセス

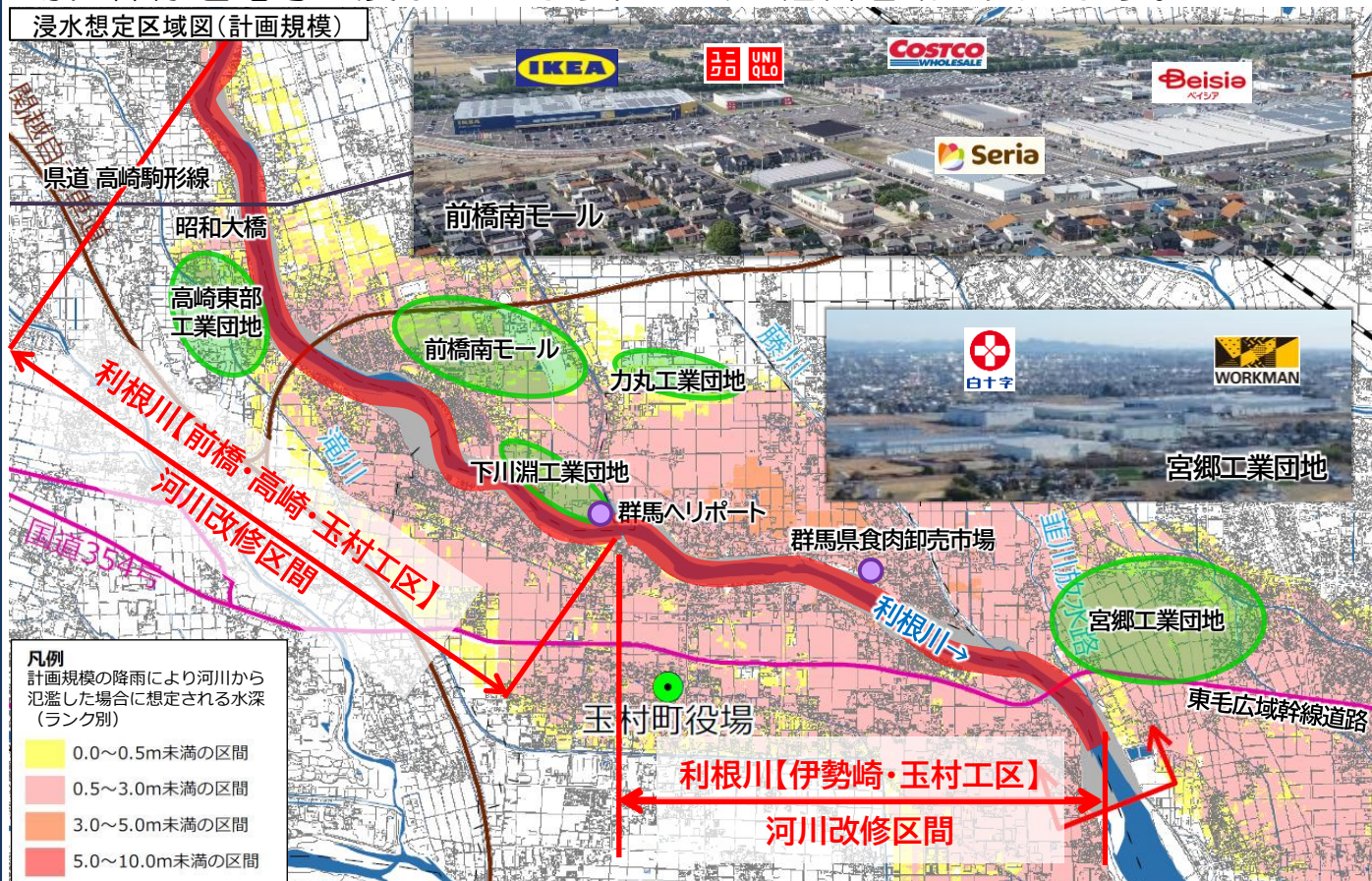
ストック効果

～大規模な水害への備えをすすめ、経済活動を守る～

地域産業の安全性向上

利根川はひとたび氾濫すると、広域的な浸水により経済活動の停滞を招くおそれがあります。そのため、河川改修を実施し、商業施設や工場、幹線道路等を浸水から守り、地域の経済活動を支えます。

浸水想定区域図(計画規模)



【効果】 水害リスクの軽減

河川改修により、周辺地域の浸水害リスクを軽減し、地域産業を担う工場団地や商業施設と物流を支える主要道路の安全性が向上します。

● Before

川の断面が小さく、氾濫被害が発生するおそれがあります。



平常時



H18年7月豪雨時

昭和大橋（県道 高崎駒形線）から上流側を撮影

● After

堤防整備と河川内の掘削を行い、水の通り道を広げることで、流せる水量を増やします。



整備イメージ(利根川【伊勢崎・玉村工区】)

河道掘削

堤防整備

ストック
効果